

して其目的とする處は所要の位置に鑄型を確保せしむる極めて輕便なるバイスを得んとするにあり

特許請求の範圍 一、本文に詳記し且添付の圖面に付き説明せる如く兩挾片の間隙を兩挾片の位置を變するに從て自動的に變更せしめ一位置に於ては鑄型を容易に其間隙に出入する事を得せしめ他位置に於ては確實に之を保持せしむ可くなしたる鑄型用バイス 二、本文に詳記し且添付の圖面に付き説明せる如き兩挾片の旋回軸心と兩挾片を連結する鉤の軸心とを偏心的に裝置し兩挾片を協同して旋回すると同時に兩挾片間の距離を變更せしめ以て鑄造するに適する位置に鑄型を置くときは自動的に兩挾片間に鑄型を確保せしむ可くなしたる請求範圍第一項に記載したる鑄型用バイス

商 況

海外商況

○米國金物市況

八月の鋼鐵市況は引直りを示せり、平爐は其全力にて轉爐は九割の操業率にて働けるも尙ほ鋼鐵は品薄にして鋼片及び薄板用鋼鋸の價格はよく保たる、鋼鐵の出荷は延引し鐵板及び形鋼の新規注文に對し、大なる製鋼所は四週間よ

り六週間以内の出荷約定をなさず鋼鋸の出荷は一層遅延す、表面上鋼鐵市況は甚だ強硬にして永く此狀況を繼續すへしと豫期せらる、然れとも市場の狀況を仔細に考ふるに其原因は主として輸出品特に兵器の注文にあり、此需要は直接間接に製鋼工場に仕事を與へ、又間接に内地商況に影響を及ぼし騰貴の傾向を助長せり、鐵及鋼の六月の輸出額は五月の二六三、六四九噸及び開戰前一九一四年最初の七ヶ月間の平均一三七、〇〇〇噸に對して總計三五五、八二九噸を示せり、此中銑鐵、屑鐵及び鑄物等を除けば三二〇、〇〇〇噸は成鋼なり此中には機械、兵器、軍需品、電車等を含む、之に間接の輸出額八〇、〇〇〇噸を加算すれば一ヶ月合計二、四〇〇、〇〇〇噸なり、六月の産額は恐らく一、八〇〇、〇〇〇噸にして直接間接の鋼鐵輸出額は約其二二%を示せり、輸出は六月以來各種の方面に徐々に増加しつつあり、露國に向て多量の軌條積出し行はれたり。九月に於ける直接間接の輸出は製鋼六〇〇、〇〇〇噸の多額に上るべく明かに鋼鐵取引は最も繁忙の時期に達すへし。

銑鐵 銑鐵價格の騰貴は七月上旬より顯はれ下旬には益々著しくなり八月には更に其度を加へたり、銑鐵の重要な各取引を平均すれば七月の騰貴は約一噸に就き三五仙八月は同しく九〇仙併せて一・二五弗に達せり、七月以前の銑鐵相場は單に僅かの動搖ありしのみ、銑鐵價格の高下は製鋼工場に於ける鎔鑛爐よりも市場の鎔鑛爐に於て一層甚し

かりき其主もなる原因の一は市場の鎔鑛爐の或者は自己の鑛山を所有せるも他の者は市價にて鑛石を購入せざるへからざるにあり。

昨年米國にて操業を繼續せる鎔鑛爐は殆ど全く自己の鑛石を有するものに限られたり、而も尙ほ餘り利益を得る能はず、七月初旬に於ては已に鎔鑛爐は本年後半期の全部を賣り盡せり、故に比較的僅少の購入にも價格は寧ろ著しく騰貴せり。次に銑鐵時價を擧ぐれば

二號鑄物銑	フライデル	フライヤ	渡し	一五・〇〇—一五・二五 _冊
同	バフアロー	鎔鑛爐	渡し	一四・〇〇—一四・五〇
同	クリーブランド	渡し		一四・五〇
同	チカゴ	鎔鑛爐	渡し	一三・五〇—一四・〇〇
同	バーミンガム	渡し		一一・〇〇—一一・五〇
ピッツバーグ	地方相場、	バレー	鎔鑛爐	渡し
二號鑄物銑				一四・二五—一四・五〇 _冊
グレイフ	オージ	銑		一四・〇〇—一四・二五
マレア	ブル	銑		一四・二五—一四・五〇
ペーシツク	銑			一四・二五—一四・五〇
ベセマー	銑			一五・五〇

但しピッツバーグ渡しは九五仙高價なり。

以上の呼値は比較的早積出しのものにして明年度初期の呼値は一般に一層高價なり。

鋼鐵、鋼片及び薄板用鋼銑の大なる消費者は長期の契約

をなせり、此等の價格の或者は毎月又は毎期更正せられ少しつゝ騰貴しつゝあり、比較的品薄なるを以て市況は鋭敏にして明かに定むるを得ず、二三の製鋼工場は呼値を示す事を避けり、市價は大約左の如くなるへし。

鋼片工場渡し

二三・五〇—二四・〇〇_冊

薄板用鋼銑(工場渡し)

二四・〇〇—二四・五〇

ベセマー鋼は恐らく之よりも稍や廉價に得らるへきも、平爐鋼は此價格にて得る事困難なるへし。

鋼銑(ピッツバーグ渡し)

二六・〇〇—二七・〇〇_冊

成形鋼材 一般に成鋼は騰貴の傾向あり、鋼銑、板及び形鋼の新規取引は少きも注文多く呼値騰貴せり、八月十六日鋼鐵協會に屬せる諸會社は鋼銑、平鋼及び形鋼一噸に一弗の騰貴即一・三五仙を發表せり、ピッツバーグ及び他の大なる工場は此價格にて仕事をなせり、小なる鋼板工場のみは一・二五仙に止れり。

鐵以外の金物 其後市況は比較的平靜にして特殊の狀況なく、價格は徐々に下落し取引は適度なり、内地取引を主とせるも輸取向取引は再ひ増加の徴候あり。

銅 輸出取引はオーストラリア及び日本銅の歐洲市場に入り込める爲め稍々其影響を受けたるも取引は已に再開せられたり、内地取引は少くして而も減價にて行はる、最近の市價はニューヨークにて一七・六〇—一七・八〇仙なり。

鉛 アメリカン、スマルチング、エンド、レファイニング會

社の著しき價格引下げにより市況は七月に顯はせる如き樂觀を許さず、競争者は尙ほ一層價格を引下げニューヨークにては約五仙、セントルイスにては四・九―五・〇仙なり。

錫 市況は何等特徴なく價格は下落の傾向ありニューヨーク呼値は三五・五仙なり。

亞鉛 は一般に此數週間弱味にして取引の量甚た少し、現在及び將來の需要に對して適當なる供給あり、セントルイスにては約一四・五―一五仙の呼値なり。

他の金屬 アルミニウムは可なりの需要により相當高價を保てり、一號品は一封度ニューヨークにて三一―三三仙の呼値なり、アンチモニーの價格は呼値のみにして普通品は三五―三七・五仙特別品は四八―五〇仙なり、水銀の取引は七五封度入九二―九四弗にて稍々行はるサンフランシスコにては市況平靜にして價格はニューヨークに於けると同し。

○英國金物市況

銑鐵 市況は現時に於ては健全なりと云ふを得ず、何となれば現今の異常なる工業状態の爲めに消費は制限せられ製造者は熔鑛爐より出る銑鐵の捌口を有せざる状態にあり、クリーブランド銑は需要の減少殊に投機の結果其價格著しく下落せり、貯藏は徐々に増加せるも全體として製産額は取引需要額よりも餘り過多ならざるへし、海外取引に

關しては中立國より確實なる注文あるも積出しは七月に於ると同様の割合には増加せず、運賃の高價なると政府の許可を得る面倒とは此海外取引發展を阻害する原因をなせり。

滿俺銑 市況に關しては特記すへき變化なく以前の價格を持續せり、米國よりの報知によればイ、ゼ、ラビノ會社はナイヤガラ瀑布の附近に於て八〇%の滿俺銑製造を開始せるも尙ほ其取引に關する詳細を記せず、一般に信せらるる所によれば此三ヶ月間に英國より米國に輸入せる額は五月より七月に至る三ヶ月間に於けるよりも遙かに少なり。

半成鋼 の市況は米國品の競争實際に減少せるを以て甚た強硬なり、米國に於ける多數の重要な製造者は本年の終り迄已に契約をなし今は其後の契約を希望せり。

亞鉛引薄板 市況は注文の缺乏より緩漫にして、價格の下落は品質と製造者の注文條件とによりて一様ならず。

鋳力板 の市況は不況にして價格は稍々小緩みなり、是れ政府の輸出禁止と之に伴ふ取引減少とによる。

軌條 に關しては新規の報告殆んどなく米國に於ける七月中の軌條注文は好況にして合計二四二、〇〇〇噸に達せり此中の大部分は露國よりの注文にして一六〇、〇〇〇噸に達せり。

本年一月よりの米國軌條注文を擧ぐれば左の如し。

一 月

二〇〇、〇〇〇

二	月	一五〇、〇〇〇
三	月	一六〇、〇〇〇
四	月	六五、〇〇〇
五	月	一四〇、〇〇〇
六	月	二二五、〇〇〇

他の製鋼 取引に關しては特に記すへき變化なきも明かに硬調子なり、マークド、バーには變化なきも無印鋼鋅の呼値は稍や高し其上等品は最低一一磅一二志六片なり、實際注文の量は増加せざるも尙ほ火急の買入注文に應ずる事困難なり、南スタツフオードシヤイヤ一の鋼鐵相場は甚た強硬なり。

各種金物の代價左表の如し。

材料種別	一九一五年 八月十九日	一九一五年 八月十二日	一九一四年 八月二十日
鐵礦			
ルビオ(ミツドルスポロー)	二五、〇九 ^片	二五、〇九 ^片	二〇、〇六 ^片
銑鐵			
三號鑄物銑(ミツドル)	六五、〇三 ^片	六六、〇九 ^片	五三、〇〇 ^片
現金渡し	六四、〇八	六六、〇三	五二、〇九
スコチ現金渡し(ガラスゴ)	七〇、〇七・五	七二、〇一・五	五九、〇〇
ヘマタイト現金渡し(西海岸)	九五、〇〇	九五、〇〇	六四、〇〇
冷風鑄(サウス、スタツフオ)	一五五、〇〇	一五五、〇〇	一三〇、〇〇
物銑(ードシヤイヤ)			
製品			
マーク(サウス、スタツフ)	一二、〇〇、〇〇 ^片	一二、〇〇、〇〇 ^片	九、〇〇、〇〇 ^片
ドバー(オードシヤイヤ)	一一、一二、〇六	一一、一二、〇六	八、〇〇、〇〇
普通鋼鋅	九、〇二、〇六	九、〇二、〇六	六、一二、〇六
鋼軌條			

亞鉛引鐵板	一八、一〇、〇〇	二〇、一五、〇〇	一五、〇〇、〇〇
造船用(ミツドル)	九、一五、〇〇	九、一五、〇〇	六、一五、〇〇
山形(スポロー)	一〇、〇七、〇六	一〇、〇五、〇〇	六、一七、〇六
山形鋼(ガラスゴ)	一〇、〇〇、〇〇	一〇、〇〇、〇〇	七、〇〇、〇〇
鋼板(造船用ミツドル)	一〇、〇〇、〇〇	一〇、〇〇、〇〇	七、〇〇、〇〇
同(造船用)	一〇、〇二、〇六	一〇、〇〇、〇〇	七、〇二、〇六
同(汽罐用)	一〇、一五、〇〇	一〇、一五、〇〇	七、一〇、〇〇
同(ラスゴ)	一〇、〇一、一八	一〇、〇一、一八	七、〇一、一八
鐵力(ベセマー鋼サウ)	一八、〇一、一八	一八、〇一、一八	一三、〇三
板(ス、ウエールス)	一八、〇一、一八	一八、〇一、一八	一三、〇三

鐵以外の諸金物七月中旬の代價左の如し。

銅 現物	六五、一五、〇〇 ^片
錫(イングリシユ)	一五〇、〇〇、〇〇
亞鉛(イングリシユ)	六一、〇〇、〇〇
鉛(イングリシユ)	二二、〇〇、〇〇

○内國商況

銑 米本國の相場は依然強硬の態度を持續し且内地に於ける安値輸入品は大手口の商談に依りて既に一應は片付きたる折柄需要期節に入りたる爲め一般に買氣を弱して在荷は次第に漸減の歩調を辿るに至れり殊に近來東京、横須賀、神戸、佐世保等の地方にありては棒鐵の注文頻出し加之從來賣行渉々しからさりし建築材料及ひ造船材料の大口注文は嵩み來りたるを以て前月以來約三千噸の入荷ありたるに拘らず相場は終始一貫漸騰の趨勢を脱せさりき洋釘に對する内地の需要は依然不振の域を脱せざるも輸出商談頓に旺盛となり露國方面へ向け少なからざる輸出はるゝに至りし爲め製造家は市場への賣出數量に幾分か制限を加へ特に

長期の約定は絶對的に拒絶せる爲め滅切り暴騰を告げたり尙ほ又針金は在荷過多の爲め獨り遙かに英本國相場の下値にありと雖も矢張り一般鐵類の漸騰に伴れて強含みの風情となれり。

因に當月末の相場を前月末に比するに鐵板は三六物十錢乃至三十錢、シーメンズ三六物三十錢乃至四十五錢、四八物十錢乃至八十錢、鉛丹引平板十錢方の騰貴を示したるか鉛丹引生子板は概して保合ひ、鉛丹引線は二十錢乃至五十錢方引締り、丸鐵は十錢乃至三十錢方、角鐵は十錢乃至三十五錢方、平鐵一分厚は十錢方、同二分厚は三十錢方、同三分厚は二十錢方、同四分厚は五錢乃至二十五錢方、同五分厚は二三十錢方も上跳ね、丸釘は實に一圓十五錢乃至二圓十錢方、家釘は一圓十錢乃至四十錢方の暴騰なり。

銑鐵 軍器の大注文を受けて以來或は日露戰役當時の如く民間に銑鐵彈の製造開始を見るやも測られずとて氣配は頓に硬化し來りたる折しも、當月四日には英國に於けるレツドガー銑鐵製造所より工場の一部が破壊せられたるに加へ職工の減退著しく且つ石炭の大缺乏を告げたるを理由として既に約定品に對する永久的約定破棄を申込み來りしかは人氣は之に煽られて愈よ先高を豫測し早くも思惑筋に買物現はれ立所に一千百噸の商内を見たり之か爲め相場は一圓高の中割百貫十七圓八十錢を唱へたるが在荷は四五千噸見當に過ぎざる事とて氣配一段と強硬となれり。

銅 前月末に比し十二志六片安の六十九磅五志に生れたる倫敦銅先物相場は大勢非にして九日には六十八磅まで下押せるか翌十日に六十八磅十二志六片に引戻したるを動機に尺進寸退の歩調を以て大勢を挽回し月末には七十三磅となれり今や聯合側に於ける戰況の利不利は倫敦に於ける銅相場を高下せしむべき唯一の材料なるか如し即ち聯合側の不振なる結果は一般米國商人をして聯合國との取引に多少不安の念を抱かしむ月初聯合側の戰況依然として振はさりし爲め市場の賣方は此機微を察して賣向ひたる爲め相場は自然軟弱たりしか聯合側の戰況漸く良好となるや此の如き杞憂は次第に解けたるに加へ米國の株式市場か一般に昂騰を告げたるに刺戟せられたるの感なきに非らず。

内地市場を顧るに月初は倫敦相場の不常に氣迷ひの姿なりしか愈よ本國相場の不振を見透してか幾分か賣人氣旺盛の氣味となれるか何かさて品薄と砲兵工廠及び造幣局等の特種需要を控へて倫敦銅價の高低如何に關せず常に割高の相場を持続せる矢先に倫敦相場の恢復を材料に一圓乃至一圓五十錢方の昂騰を告げたり。

錫 前月末以來人氣沮喪せるに上旬には印度錫か本國高の報ありて一圓方上進せるに連れ一般に氣丈となれるも根か賣行不振にして在荷は案外潤澤なるに加へ又々本國安の入電頻繁となりたる爲め十日頃よりは形勢日に非となり結局三圓乃至六圓方の崩落を示したり。

鉛 一時相場は漸落の傾向を辿りたる爲め一般に需要家は更に先安を豫想して買控へたるも在荷全く拂底せる爲か弗々必需口の注文を喚起せるに加へ露國より軍需品の注文ありたる折柄濠洲よりは注文輻輳の結果十二月物までは賣留すとの報告あり且つ米國よりも高値の入電あり旁々相場は次第に昂騰して一圓乃至一圓五十錢方の引締りとなりアト手堅く保合ひたり。

亞鉛 前月不旬にはボンヤリせる相場は露國の軍用注文と倫敦高に刺戟されて色めき上旬には一圓を小鞘に五六圓乃至十一三圓方の暴騰を告げ中旬には保合ひたるか月末に迫りては物により一圓乃至三圓方引緩みたり。

安質母尼 之も亦軍需用としての商談を見越され居るも割合に在荷潤澤なる爲め相場は伸ひ兼ね概して保合ひたり尤も硫化安質母尼は染料の原料として別に相當の商内あり爲に三圓方昂騰したり。

アルミニウム 水筒の原料として需要激増し爲に下旬には十四圓方昂騰して六七十圓臺となれるか現物に至りては八十圓見當の高値取引なり。

○相場表 (九月調)

品名	東京村上商店	東京森岡商店
銑鐵	一噸に付 百十圓	同上等コークス 二四
釜石骸炭銑	一號銑 五二	同並コークス 一七
同	二號銑 四七	
同	三號銑 三七	
同	一號銑 六八	新瑞西 十貫目 圓拾錢
釜石木炭銑	二號銑 六三	一分五厘
同	三號銑 五八	二分
同	一號銑 六八	二分半
釜石白銑	二號銑 六三	三分
同	三號銑 五八	四分
同半白銑	五五	五分
同再製銑	八五	六分
レッドカー銑	五一	七分
クリブランド銑	五〇	八分
ブレナボン銑	一五〇	九分
ガアトセリー銑	七五	一寸
ヘマタイト銑	八五	一寸二
タタ銑	四二	一寸四
ベンガル銑	三八	一寸六
仙人 一號銑	五五	一寸八
同 二號銑	五二	二寸
同 三號銑	四五	二寸四
雲州白銑	六〇	二寸
栗木澤(チルド用)銑	五六	二寸八
輪西銑	三八	二寸
再製銑	三二	二寸
道具銑	三八	二寸
釜石コークス	二八	二寸
古河最上コークス	二八	二寸

九五〇

二八	二四	二寸	寸六	寸四	寸二	一寸	七分	六分	五分	四分	三分	新瑞西	平鐵	二八	二四	二寸	寸八	寸六	寸四	寸二	一寸	九分	八分	七分	六分	五分	四分	三分
二分厚												一分厚	十貫目															
五二〇	五二〇	四八〇	四八〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五七〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	圓拾錢	圓拾錢	五八〇	五八〇	五八〇	五八〇	五八〇	四八〇	五〇〇	五〇〇	四八〇	四八〇	四八〇	四八〇	五二〇	五二〇	五四〇

寸四	寸二	一寸	八分	七分	六分	二四	二寸	寸六	寸四	寸二	一寸	八分	七分	六分	五分	四分	二八	二四	二寸	寸六	寸四	寸二	一寸	八分	七分	六分	五分	四分	三分
四分厚												三分厚																	
四八〇	四八〇	五〇〇	五〇〇	四八〇	四八〇	五〇〇	五〇〇	五三〇	四八〇	五二〇	五二〇	五二〇	五二〇	五二〇	五二〇	五一〇	四八〇	四八〇	五〇〇	五五〇	四八〇	五三〇	五三〇	五六〇	五六〇	五八〇	五六〇	五七〇	五八〇
十二入	十一入	十入	九入	八入	七入	六入	五入	四入	三入	一分	八厘	五厘	五厘	五二〇	五二〇	五二〇	二八	二四	二寸	寸六	寸四	寸二	一寸	八分	七分	六分	二八	二四	寸六
一枚代												十貫目																	
六三〇	七〇〇	五九〇	五九〇	五九〇	五九〇	五九〇	五八〇	五〇〇	五四〇	五二〇	五三〇	五四〇	圓拾錢	圓拾錢	四八五	四八五	四八五	五五〇	四八五	四七五	四八五	四八五	四八五	四七五	四七五	四七〇	五二〇	七二〇	五二〇

九番	八番	七番	六番	五番	亞鉛引線	三三	二八	家根釘	五寸	四寸	三六	三二	二八	二四	11寸	12寸	12寸	13寸	寸六	寸四	寸二	一寸	八分	七分	六分	十六貫目	九釘	十三入			
					東京野崎商店													壹樽	拾圓拾錢												
七二〇	七二〇	七五〇	七五〇	七五〇	圓拾錢	一一八〇	一一八〇	一一五〇	一一七〇	一一七〇	一一三〇	一一七〇	一一八〇	一一八〇	一一三〇	一一三〇	一一八〇	一一九〇	一一三〇	一三五〇	一三〇〇	一三四〇	一三七〇	一三七〇	一三七〇	拾圓拾錢	五八〇	五八〇			

十番	七八〇
十一番	七八〇
十二番	七八〇
十三番	七八〇
十四番	七八〇
十五番	九〇〇
十六番	一一〇〇
十七番	一一五〇
十八番	一二〇〇
十九番	一二五〇
二十番	一二五〇
二十一番	一三〇〇
二十二番	一五〇〇
二十三番	一六〇〇

鐵線 (同)

十貫目

一番	六三〇
二番	六三〇
三番	六三〇
四番	六三〇
五番	六三〇
六番	六三〇
七番	六三〇
八番	六五〇
九番	六五〇
十番	六六〇
十一番	七〇〇
十二番	七〇〇
十三番	七〇〇
十四番	七五〇
十五番	八〇〇

十六番	九五〇
十七番	九五〇
十八番	九五〇
十九番	一一〇〇
二十番	一二〇〇
廿一番	一二〇〇
廿二番	一三〇〇
廿三番	一三〇〇
廿四番	一三〇〇
廿五番	一三〇〇

電信電話用亞鉛鍍鐵線

東京 青木商店

油引	圓十錢
四〇〇磅(鐵線)	九五〇
貳〇〇磅(鐵線)	一〇〇〇
壹〇〇磅(鐵線)	一〇〇〇
六〇磅(鐵線)	一三〇〇
三〇磅(鐵線)	一四〇〇
同上用鋼線	一七〇〇
一七〇磅(鋼線)	一五〇〇

鐵條鋼トゲ付針金

一九二付	一四〇〇
------	------

鋼線

スプリング用

東京 青木商店

十貫目 拾圓拾錢

〇番	一七〇〇
一番	一七〇〇
二番	一七〇〇
三番	一七〇〇

四番	一七〇〇
五番	一七〇〇
六番	一七〇〇
七番	一七〇〇
八番	一七〇〇
九番	一七〇〇
十番	一七〇〇
十一番	一七〇〇
十二番	一七〇〇
十三番	一七〇〇
十四番	一七〇〇
十五番	一七〇〇
十六番	一八〇〇
十七番	一八〇〇
十八番	一八〇〇
十九番	二〇〇〇
廿一番	二二〇〇
廿二番	二二〇〇
廿三番	二四〇〇
廿四番	二六〇〇

レール

東京 水橋商店

(附層品共一哩ニ付)

中古九封度レール	千百拾圓
九封度レール	一六〇〇
中古拾二封度レール	一八〇〇
拾二封度レール	二〇〇〇
中古拾二封度レール	二六〇〇
拾六封度レール	三一〇〇
拾八封度レール	三二〇〇
貳拾封度レール	三五〇〇

九五二

廿五封度レール	五〇〇〇
參拾封度レール	五五〇〇
四拾五封度レール	七六〇〇
チルド車輪九吋一臺ニ付	九
チルド車輪十吋一臺ニ付	一一
チルド車輪十二吋一臺ニ付	一二

和玉鋼

安來 松浦彌商店

十貫目 拾圓拾錢

世界一印	一六八〇
□天印	一二〇〇
□久印	八〇〇
□撰印	一六八〇
□天印	一一五〇
□刃印	七〇〇

以下六圓ヨリ三圓迄

和鐵 大阪 近藤喜兵衛

十貫目ニ付

甲六吉	六八〇
「吉	六四五
天吉	六五〇
改「吉	五九五
「吉	五八八
山吉	五二八
別製采	六五〇
同「大上	六七五
同「上	五八八
黒一玄翁地	四〇〇
再改	六三〇

鋼 (千草共) 出羽共

皇國一	二二五〇
眞稀	一六七〇
稀極	一四九〇
極天	一二八〇
天飛	一〇九〇
天吉	八六〇
天上	六六〇
天改	四五〇
改上	三一〇
改中	二四〇
稀中	一五五〇
撰中	一二五〇
極中	八〇〇
中改	五四〇
改中	三五〇

洋鋼 東京 河合 商店

三割高	拾圓拾錢
十貫目	
▲パイト用	
東郷黃紙貳號丸角	二七〇〇
同平	二五〇〇
東郷白紙〇號丸角	七五〇〇
黑紙金東郷パイ	
ビード丸角	二〇〇〇

▲道具用	
秤 印丸角	九五〇
青紙蝙蝠丸角	一二〇〇
白紙蟲丸角八角	一六〇〇
秤印平鋼	九五〇

商 况

東郷金床用	一四〇〇
▲鑛山用	
梅黃紙	八五〇
旗青紙	一〇〇〇
白紙蝙蝠中空鋼	三〇〇〇
兜青紙	一一〇〇

▲鋸 用	
兜赤紙平壹分厚	九八〇
樽平六尺物	一四〇〇
鷄白紙平一分厚	九五〇
東郷黃紙平一分	二〇〇〇
同青紙前挽用	九〇〇
東郷白紙前挽用	二〇〇〇

▲撥條用	
秘印平鋼	六五〇
電車印赤紙平	八五〇

瓦斯管 東京 梅岡己之助

舶來一尺	拾錢厘
二分	五〇
三分	六〇
四分	八〇
五分	一五〇
六分	一〇〇
一時	一五五
四分一	一八〇
一分二	二二五
二時	二九〇
二時二分一	四五〇
三時	五五〇
三時二分一	六五〇

四時	七八〇
五時	九〇〇
六時	一一六〇

櫻印鋼 出雲 安來鐵鋼會社

一貫目	圓拾錢
優等高速鋼	一五〇〇
高速鋼	一〇〇〇
極硬度鋼	五〇〇
工具用鋼 (燒番一號ヨリ)	二五〇
別製ヤスリ用鋼 (六號迄各種)	二五〇
別製刃物用鋼 (松鍛)	三五〇
同 (竹鍛)	二五〇
刃物用鋼	一七〇
右ハ寺度五分角以上二吋迄(或ハ丸)	

引拔鋼管 日本鋼管株式會社

瓦斯管 (繼目ナシ引拔)

公稱內徑 壹呎ニ付	拾錢厘
壹吋	一七〇
壹吋四分ノ一	一八〇
壹吋貳分ノ一	二二五
壹吋四分ノ三	二八〇
貳吋	二八五
貳吋四分ノ一	三六〇
貳吋貳分ノ一	三七〇
貳吋四分ノ三	四〇〇
參吋	四四五
參吋二分ノ一	五七〇
四吋	六四〇

四吋二分ノ一	七四〇
五吋	八二〇
六吋	一、〇五〇

フラン管 (繼目ナシ引拔)

外徑 壹呎ニ付	拾錢厘
壹吋半	二〇〇
壹吋六分	二三〇
貳吋	二四〇
貳吋貳分	二五五
貳吋半	二八〇
貳吋六分	三二〇
參吋	三三〇
參吋二分	四〇〇
參吋半	四三〇
四吋	五五〇
五吋	八八〇
六吋	一、一五〇

ステー管 壹呎ニ付

外徑 貳分厚	拾錢厘
貳吋	五八〇
貳吋半	六五〇
貳吋六分	七五〇
參吋	七八〇
參吋貳分	八〇〇
參吋	九〇〇
參吋貳分	九五〇
參吋半	一、〇〇〇
四吋	一、二〇〇

九五三

右ノ外各種特製管賣價ハ其時ノ協議ニ依ル

亞鉛	東京 竹内 商店	深洲生子鉛	一五五〇
百斤ニ付	拾圓拾錢	船來同棹鉛	一五五〇
BHP亞鉛	六〇〇〇	MMK	一五〇〇
ホウヘンロー	六四〇〇	上等棹鉛	一五〇〇
MMG一號	五八〇〇	KE生子鉛	一五〇〇
同 二號	四八〇〇		
錫	同上	地 銅	大阪 佐渡島商店
百斤ニ付	拾圓拾錢	百斤ニ付	拾圓拾錢
丁 錫	一〇二〇〇	九九五型銅	四六五〇
折 錫	一〇三〇〇	九九並丁銅	四六五〇
		九八並丁銅	五三五〇
		延地丁銅	四九〇〇
		長棹銅	五六〇〇

統計

●加奈陀の鐵鋼產出統計 米國鐵鋼協會發行の統計表に據るに加奈陀に於ける昨年中產出の銑鐵、鋼塊及鋼鑄物、並に各種仕上展製鐵及鋼の數量左表の如し。

第一表 銑鐵製出割合

千九百十三年(噸)	百分數	千九百十四年(噸)	百分數	増減率
五八、五四	五五〇三	三三、四六	四九・九五	(一) 四〇・六五
三二七、六一	三三四三	一八四、〇五	三六〇七	(一) 一五・二五
鹽基性銑				
ベセマー銑				

第四表 同上製法別製出量

千九百十年	平爐(噸)	ベセマー(噸)	其他各種鋼(噸)	合計(噸)
千九百十一年	五四三、三四	一九九、五七〇	—	七四二、九三四
千九百十二年	—	—	—	—
千九百十三年	—	—	—	—
千九百十四年	—	—	—	—

第三表 過去五ヶ年間に製出したる各種鋼塊及鋼鑄物の量

千九百十年	鋼塊(噸)	鋼鑄物(噸)	合計(噸)
千九百十一年	七三、〇〇三	一八九三三	七四一、九三四
千九百十二年	七六、五五九	三三、三二	七九〇、八七一
千九百十三年	八三〇、七九二	三三、三三九	八五三、〇三一
千九百十四年	一、〇〇六、一四九	三六、三五四	一、〇四二、五〇三
千九百十五年	六七五、六六一	一八、七五六	六九四、四四七

九五四
 ファウンドリー銑 三、三三三 三、一九 一七四、四六六 二四七〇 (一) 三、五九
 其他 三、七〇一 〇・三六 二六、二七 二・六 (十) 三、五四七
 合 計 一、〇二八、二八 一、〇〇〇 七五、七三 一、〇〇〇 (一) 三、四四
 木炭銑(木炭及骸炭製、骸炭及電氣製等を含む)は一昨年
 の二萬八千二百七十噸に對し昨年は一萬五千〇九十二噸、
 又骸炭銑は一昨年の九十八萬六千八百四十八噸に對し昨年
 は六十九萬〇八百八十噸に減せり。

第二表 商用銑と自用銑との製出割合

商用(噸)	自用(噸)	合計(噸)
商用銑	自用銑	合計
フアウンドリー及 フエロ、シリコン	一七四、三四六	一七四、三四六
其他	一六、〇九九	五三一、六二六
合 計	一九〇、四四五	七〇五、九七二